

臨床応用に繋がる新規薬剤の共同基礎研究組織

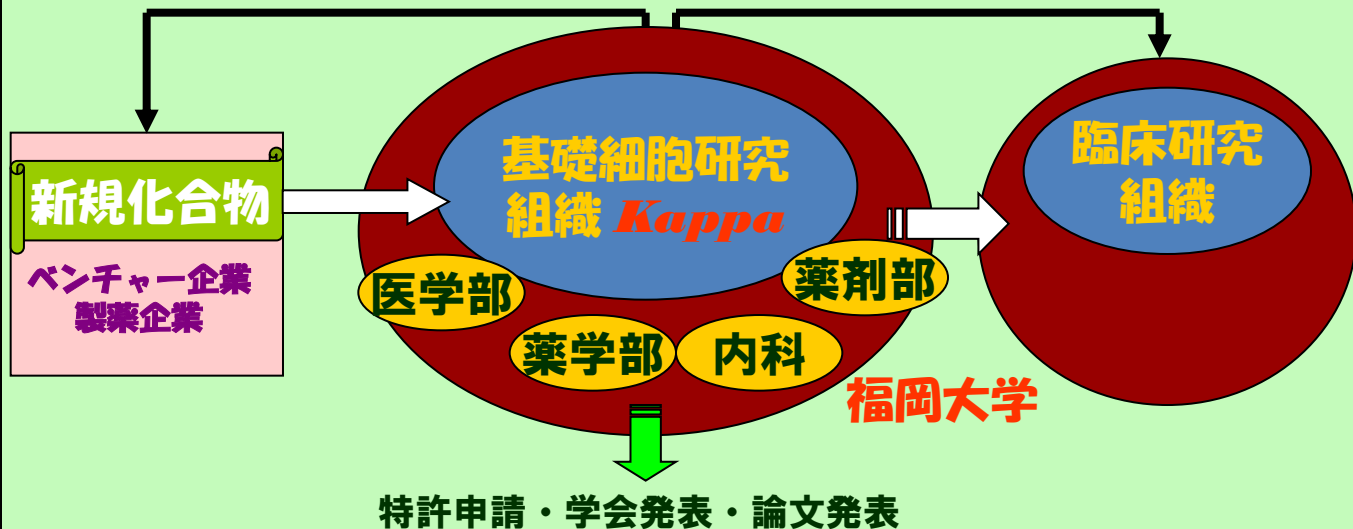
医学部	医学科	病態構造系総合研究室	講師	自見 至郎
薬学部		医薬品情報学教室	教授	原 周司
医学部	医学科	腫瘍・血液・感染症内科学	准教授	高松 泰
薬学部		実務薬剤学教室	講師	緒方 憲太郎
医学部	医学科	腫瘍・血液・感染症内科学	教授	田村 和夫

【分野】 医学

【キーワード】 新規薬剤、薬剤効果、基礎研究、細胞研究

【研究シーズの概要】

企業が保有する抗がん効果を有する新規化合物を用い、細胞を用いた基礎研究を行い、細胞に対する薬理効果の情報を提供する大学内共同基礎研究組織“Kappa”。その基礎的結果をもとに、学会発表、論文発表などに加え、特許申請を企業と共同で行う。また臨床試験（治験）への移行の足がかりの場を提供する総合的医薬品実用化の拠点。



【特徴、効果、独創的な点】

- 信頼性のある薬物効果判定
- 様々な細胞を用いた解析
- 細胞内代謝の解明と、他剤との併用の可能性の解析

【利用、用途】

- 新規薬理効果の特許申請
- 副作用の解析
- 他剤との併用効果の最適化
- 臨床試験への橋渡し

【知的財産等情報】 論文 (Int J Oncol等)